

第38回 日本海沿岸東北自動車道 新潟・山形県境地区 建設促進大会

地域・人・夢をつなぐ日沿道



※第36回 建設促進大会写真

日時

令和8年7月10日(金) 13:30～

会場

鶴岡市温海ふれあいセンター(山形県鶴岡市温海)

第38回日本海沿岸東北自動車道 新潟・山形県境地区建設促進大会

次 第

1. 開 会
2. あ い さ つ
3. 来 賓 祝 辞
4. 来 賓 紹 介
5. 事 業 報 告
6. 道の駅進捗状況説明
7. 大 会 決 議
8. 要 望 書 手 交
9. 閉 会

事業報告

- ◇ 国土交通省 北陸地方整備局
新潟国道事務所長

あお き たか ひろ
青木 崇光 氏

- ◇ 国土交通省 北陸地方整備局
羽越河川国道事務所長

まつもと よしひろ
松本 喜裕 氏

- ◇ 国土交通省 東北地方整備局
酒田河川国道事務所長

たかはし ともあき
高橋 朋昭 氏

道の駅進捗状況説明

- ◇ 村上市観光課
課長補佐

ます こ まきおみ
増子 正臣 氏

- ◇ 株式会社夕陽コミュニティ
係長

あ べ ま ゆ こ
阿部 麻由子 氏

大会決議（案）

「日本海国土軸」を形成する日本海沿岸東北自動車道（日沿道）は、「地域安全保障のエッセンシャルネットワーク」として、新潟・山形・秋田の三県を繋ぎ青森に至る日本海側を結ぶ大動脈であるとともに、沿岸地域の空港・港湾などの主要物流拠点と連携した総合的な広域交通ネットワークを形成し、物流の効率化による生産性の向上はもとより、インバウンドを含めた広域周遊観光による観光交流人口の拡大など、地域経済の活性化に大きく寄与する大変重要な路線である。

また、防災・減災、国土強靱化に資するとともに、救急医療施設への搬送時間短縮、住民の暮らしの安全・安心など、ここで暮らす私たちにとっては「命の道」である。

そうした中、近年の気候変動に伴い激甚化・頻発化する気象災害や令和元年6月に発生した山形県沖を震源とする大規模地震などにより、国道7号をはじめとする多くの幹線道路などが一時通行止めになるなど、脆弱な道路交通網が住民生活や地域経済に大きな被害をもたらした。さまざまな自然災害による脅威への備えに加え、物流の効率化や観光振興など地域経済の活性化のためにも、未整備区間の解消によるリダンダンシーの確保やダブルネットワークの構築、安全・安心な道路交通網の整備は沿線地域の悲願である。

現在、新潟・山形県境区間の「朝日温海道路」では、両県においてトンネル工事や改良工事が着々と進められ、令和2年の（仮称）1号トンネル及び（仮称）大岩川トンネルをはじめ、現在まで21本中5本のトンネルが貫通するなど、事業の進捗が確実に実感できるようになり、沿線地域では、日沿道の全線開通の効果を地域活性化に繋げるため、東北・北陸とのハブ機能を有し、観光情報の発信と地域振興の拠点となる「道の駅」の整備計画など具体的な取り組みを進めている。

引き続き、こうした取り組みをこれまで以上に推し進め、関係者の総力を結集し、日沿道の一刻も早い全線開通を実現していかなければならない。

古くから親交の深い新潟・山形県境地区は、県境を越え、地域住民が思いを一つにして、日沿道の整備促進運動に取り組んできたところであり、今後も全線開通に向けてより一層連携を強めて「運動」を展開することとしている。

ついては、日沿道「朝日温海道路」の一日も早い全線開通に向け、次の事項について強く要望する。

記

- 一、日本海沿岸部の新潟・山形県境を結ぶ、日沿道「朝日温海道路(朝日まほろばＩＣ～あつみ温泉ＩＣ間)」については、積極的に予算を投入し着実な整備を進めるとともに、早期に事業の効果を発現できるよう部分供用を行うこと。
- 一、防災・減災、国土強靱化とインフラ老朽化対策、生産性向上等につながる事業を切れ目なく、計画的・継続的に推進していくため、第１次国土強靱化実施中期計画で示された施策について、５年間でおおむね 20 兆円強程度の「強」の部分も含め、必要かつ十分な予算を、通常の公共事業予算とは別枠で確保すること。
毎年度の予算においては、資材価格・人件費高騰等の影響を含め、必要かつ十分な措置を講じること。
- 一、災害への備え及び観光等の経済活動のため、人流・物流の活性化に向けた高規格道路の未整備区間の解消、代替機能を発揮する直轄国道とのダブルネットワーク化を推進するとともに、国土をつなぐシームレスネットワークの構築に取り組むこと。
- 一、道路の安全・安心の確保に向け、橋梁、トンネル、舗装等の老朽化対策や、交通安全対策・無電柱化の推進を図ること。
- 一、令和３年７月策定の「東北地方新広域道路交通計画」並びに「北陸ブロック新広域道路交通計画」に位置づけられた道路の機能強化や重点整備・支援を図ること。
- 一、朝日温海道路のＩＣ周辺に計画している地域活性化の拠点となる「道の駅」等の道路休憩施設への整備に対する支援を図ること。
- 一、激甚化・頻発化する大規模自然災害時の TEC-FORCE 等による迅速かつ円滑な復旧・自治体支援のため、地方整備局等及び研究機関において必要な人員や体制の充実・強化や災害対応に必要なとなる資機材の更なる確保に取り組むこと。

以上、決議する。

令和８年７月 10 日

日本海沿岸東北自動車道
新潟・山形県境地区建設促進大会

日本海沿岸東北自動車道 新潟・山形県境区間の早期全線開通を！

国道7号
朝日温海道路
(日沿道
朝日まほろばIC～
あつみ温泉IC)
L=40.8km

凡 例	
—	供用区間
—	事業区間
—	未事業区間
—	H25事業化区間



■主催／日本海沿岸東北自動車道建設促進新潟・山形県境地区期成同盟会

■共催／日本海沿岸東北自動車道建設促進新潟地区期成同盟会

日本海沿岸東北自動車道等建設促進庄内地区期成同盟会

村上商工会議所・朝日商工会・山北商工会・鶴岡商工会議所

出羽商工会・北新潟農業協同組合・鶴岡市農業協同組合

庄内たがわ農業協同組合・新潟漁業協同組合山北支所

山形県漁業協同組合・(一社)いわふね青年会議所・(公社)鶴岡青年会議所

(一社)村上市観光協会・(一社)DEGAM鶴岡ツーリズムビューロー

あつみ観光協会・(一社)新潟県建設業協会村上支部・(一社)村上市建設業協会

山形県建設業協会鶴岡支部・村上市森林組合・鶴岡市あつみ森林組合・出羽庄内森林組合

■後援／新潟県・山形県

[順不同]